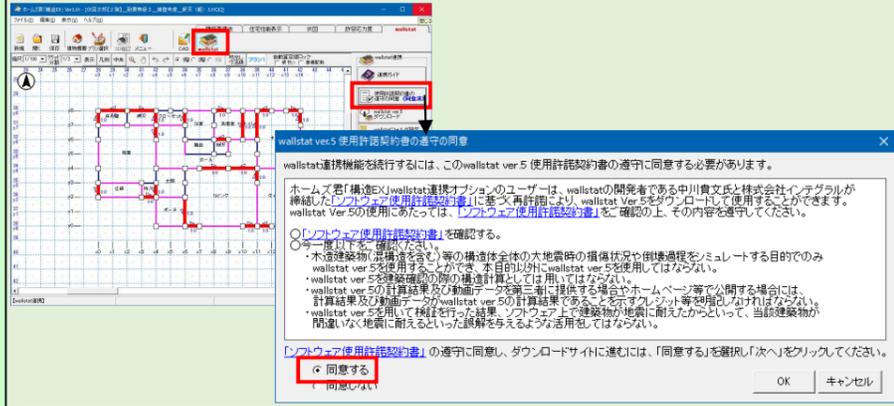


ホームズ君「構造EX」 wallstat連携ガイド

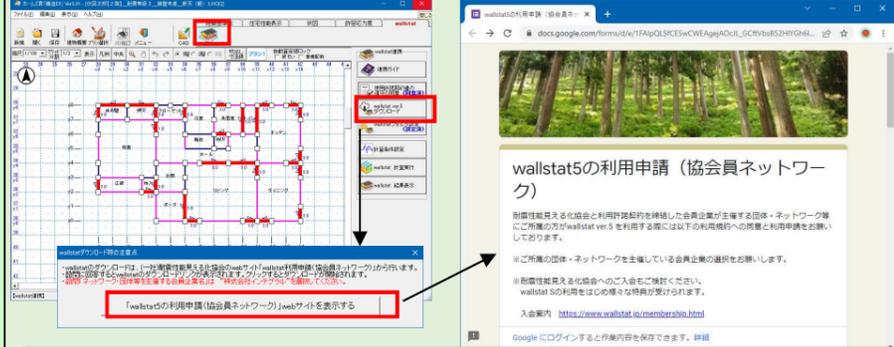
【前提】 wallstat 連携を行うには、事前に許容応力度計算が行われた状態にしておく必要があります。(NG を全て解消する必要はありません。)

① 使用許諾契約書の遵守の同意



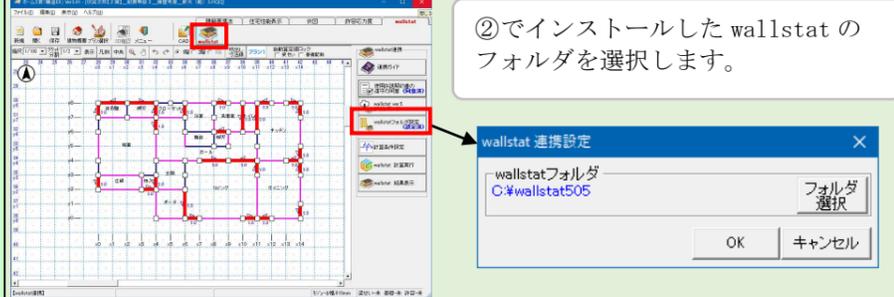
wallstat 連携を行うには「wallstat ver.5 使用許諾契約書の遵守の同意」の内容を十分に確認し「同意する」を選択し「OK」ボタンをクリックします。

② wallstat のダウンロード



wallstat ver.5 のダウンロードは、(一社)耐震性能見える化協会の web サイトから行います。(画面上的の設問に答えるとダウンロード画面が表示されます) インストールは、ダウンロードした zip ファイルを任意の場所に展開するだけです。

③ wallstat フォルダ設定



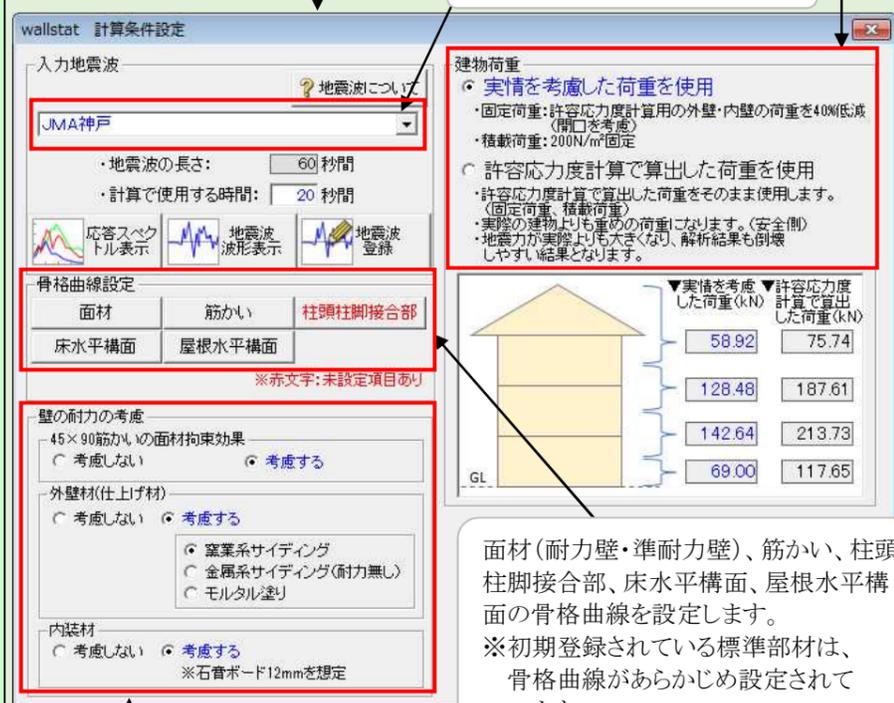
②でインストールした wallstat のフォルダを選択します。

④ 計算条件設定



wallstat連携で使用する建物荷重を選択します。

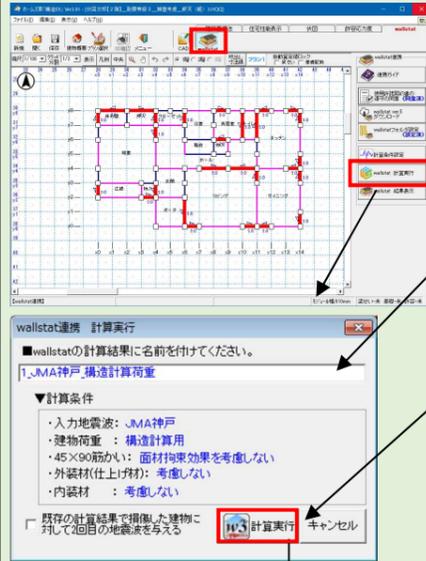
与える地震波を選択します。



面材(耐力壁・準耐力壁)、筋かい、柱頭柱脚接合部、床水平構面、屋根水平構面の骨格曲線を設定します。
※初期登録されている標準部材は、骨格曲線があらかじめ設定されています。

外壁材(仕上げ材)、内装材等の耐力を考慮する/しないを選択します。

⑤ wallstat 計算実行



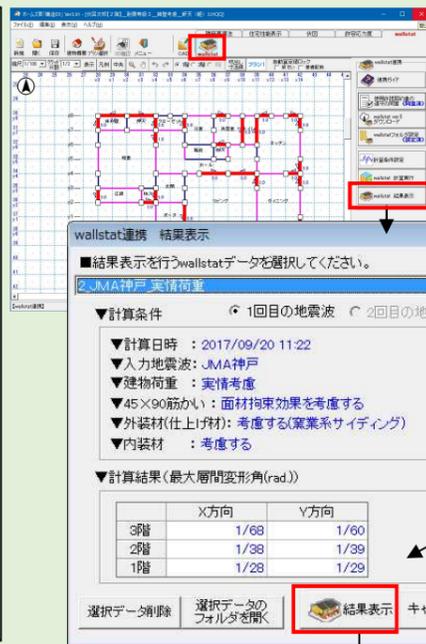
「計算結果の名称」は入力地震波と建物荷重から自動的に入力されます。(変更可)

計算実行ボタンをクリックすると、wallstatが計算を開始します。既存の計算結果に、2回目の地震波を与えることもできます。



計算には建物の規模と地震波に応じた時間がかかります。(パソコンの性能や計算条件などにより増減します) 熊本地震などの実際の地震波の場合: 1分~4分 人工地震波の場合: 4分~5分

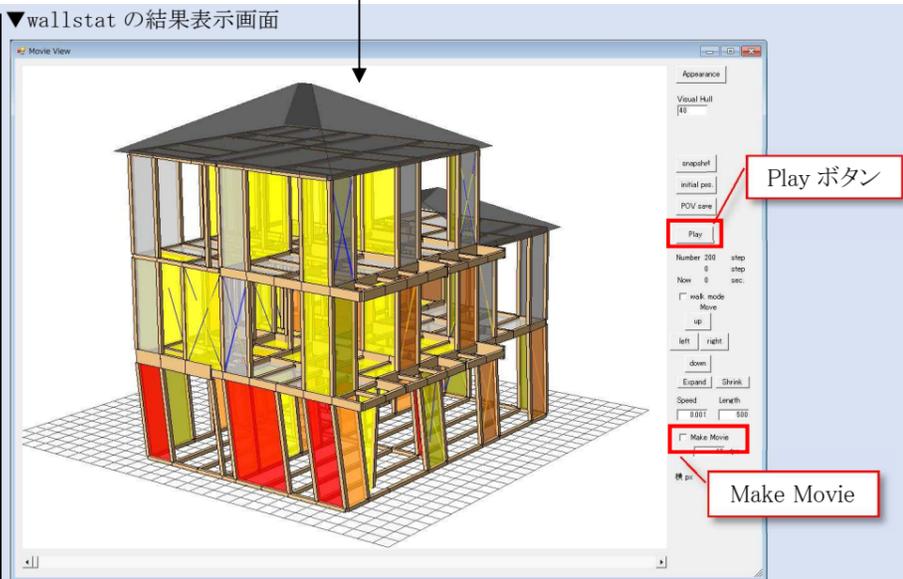
⑥ wallstat 結果表示 (設定画面)



結果表示を行うwallstatのデータを選択します。
※⑤で入力した名称が表示されます。

wallstatを起動して、計算結果を表示します。

⑦ wallstat 結果表示



wallstat 結果表示画面の主な操作方法

■ 3D 画面での操作

- マウス左ボタンを押しながらマウスを移動: 3D表示を回転
- マウス右ボタンを押しながらマウスを左右に移動: 拡大・縮小
※マウスホイールでも拡大縮小が可能
- マウス左右ボタン同時押しでマウスを移動: 上下左右平行移動

■ Playボタン

倒壊解析結果を再生します。

■ Make Movie

「Make Movie」にチェック付け「Play」ボタンをクリックすると解析結果を動画ファイルに出力します。

■ wallstatの詳細な操作方法

ユーザーズマニュアル(下記のURL)を参照ください。
https://support.wallstat.jp/wallstat_manual/